

2014年8月政治・経済・社会情勢関連報道

1. 政治関連報道

報道日	報道内容
7日	臨時選挙管理委員会財務担当ジョルジュ氏が解任。サン＝ルイ女史が新担当に。
10日	7日、野党 Ayisyen pour Ayiti, Fanmi Lavalas, Fusion, Inite, Kontrapepla, Mopod が共同コミュニケを発出。選挙実施遅延の責任を同野党勢力及び野党系上院議員「6人組」に帰する政権を批判。
22日	ザニー上院議員は4名の上院議員に議員辞職をもちかけた。上院が議事定足数に満たない状況を作り出すことにより、大統領令による統治を実現し、選挙を実施するためとしている。

2. 経済関連報道

報道日	報道内容
2日	1日、マルテリー大統領は大統領府にて中国企業 CACS 社(China Automation Control System Corporation)及び CASS 社(China Airport Construction Group Corporation)の代表団と、トゥサン・ルヴェルチュール国際空港道路の修復や南東県コート・ドゥ・フェール市の観光プロジェクト等について会談した。
12日	国連ラテンアメリカ・カリブ経済委員会によれば、2014年終わりまでにハイチは3.5%の経済成長率を達成する見通し。カリブ諸国全16ヶ国中第4位。
12日	8日、下院で2014-2015年度予算案を可決。1,226億グルド。
20日	19日、ラモット首相はラロ通商産業大臣らとともに米国商工会議所の派遣団と主に農業、エネルギー分野について会談した。
23日	2014年7月インフレ率、前年同月比4.8%。

3. 社会関連報道

報道日	報道内容
10日	10日、ハンガーストライキ20日目のベリゼール下院議員が意識不明となり病院へ搬送。集中治療室へ。自身の暴力行為がもとで2ヶ月間の議員活動停止及び50%の減給処分となっていた。

10 日	10 日朝、クロア・デ・ブーケ刑務所が襲撃を受け、誘拐組織元リーダーのクリフォード・ブラントら多数の囚人が脱獄。その後 12 日に身柄を拘束された。
15 日	アリスティド元大統領に対する召喚状及び拘引状送付を受け、支持者らが同大統領の拘引を阻止するため道路を封鎖。
29 日	国際農業センター（CIAT）他は、気候変動がコーヒーとマンゴー栽培に及ぼす影響に関する研究結果をまとめた。今後 2050 年までに予想される変動により、ハイチでは、標高 1300 メートル以下でのコーヒー栽培が難しくなると見ている。代わりに、マンゴーを中心にカカオ、モロコシ、ヤムイモの栽培に適した気候となるため、これらの農作物への移行を奨励している。

* 当国各種報道等の公開情報を取りまとめたもの。